

市立宇和島病院の理念

- 一、信頼される病院
- 一、思いやりのある病院
- 一、やすらぎのある病院
- 一、進化しつづける病院
- 一、地域になくてはならない病院をつくりま

市立宇和島病院の  
基本方針

- 1、いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
- 2、患者さまの権利を尊重し、愛情と対話をもってあたたかい医療を提供する病院をめざします。
- 3、快適な医療環境をととのえ、明るくうるおいのある病院をめざします。
- 4、高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
- 5、医療・保健・福祉との連携を深め、地域で完結する医療に貢献する病院をめざします。

うわじま  牛 鬼  うしおに

患者さまの権利

- 1、良質で適切な医療を平等に受けることができます。
- 2、自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
- 3、医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
- 4、主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
- 5、自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めることができます。
- 6、個人情報及びプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
- 7、患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
- 8、病院に対し種々の提言をすることができます。

市立宇和島病院ホームページ  
<http://www.uwajima-mh.jp>

宇和島市病院事業管理者

市川 幹郎



あけましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様のご多幸をお祈り致します。日頃は病院事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。今年も宜しくお願い申し上げます。

現在、宇和島市は3市立病院を運営し、各病院は合併前から地域医療を担ってきた歴史もあり可能な医療を提供してきました。しかし、「地域の医療及び介護の総合的な確保」を目的に平成26年6月に改正された医療法、介護保険法により、今後の医療体制は病院完結型医療から地域完結型医療に変わり、各医療圏域（当地は宇和島圏域）で必要な医療、介護を「地域医療構想調整会議」で協議して行い、各医療・介護機関はそれぞれ能力に応じた医療・介護を担当するように変更されます。そのため、これまでの経緯から市立宇和島病院は救命救急センター併設病院として急性期医療、他の2病院は回復期・慢性期医療を受け持つ事になると考えられます。

昨今、医師・看護師を始め職員の確保が困難で、さらに必要な医療を提供するためには設備が必要ですが、医療費は国の財政事情から実質的に削減され、一方で人件費・材料費等は年々上昇し、特に地域の医療を取りまく環境はますます厳しくなっています。病院職員は医療を守る使命は理解していますが、市民の皆様にはこれらの事情をご理解頂き引き続きさらなるご協力をお願い申し上げます。

市立宇和島病院院長

梶原 伸介



当院は南予救命救急センターを併設しており、南予の救急の最後の砦として長年に亘り、24時間、365日救急を断らない方針で病院を運営してまいりました。それにより「信頼される病院」、「地域になくてはならない病院」をつくりまという当院の理念は達成出来つつあるのではないかと思います。しかしながら、地域の皆様にはいつでも、何でも診てもらえるということが当たり前となり、日中の診療では待ち時間が長いため、救急で行くとすぐ診てもらえるとの感覚で受診されている方も一部におられるのではないのでしょうか。

当院の救命救急センターでは、主に命の危険がある重篤や重症の救急患者を受け入れ、見逃したら直ちに命にかかわるのではないかとこの視点で対応することが求められています。時代の流れで、医師、看護師、医療スタッフの人材不足は深刻化し、一方で医療の高度化、細分化により救急現場での要求は高くなるばかりで、従事者の疲弊度は増えています。

当院としては出来るだけ今の体制で救急を続けたいと思っていますし、当院の使命は十分自覚しているつもりです。しかし、現在の救命救急センターは、重症患者のほか比較的軽症の方も多数受診しているため、従事者は休む間もなく夜通し対応に追われています。このような状況が続く、体力面や精神面等での不安を理由に若手医師から敬遠されるようになれば、病院の活力はなくなり衰退の一途を辿るのではないかと懸念しています。

地域になくてはならない病院であり続けるために我々当事者も努力いたしますが、市民の皆様も救命救急センターの現状をご理解いただき、重症で緊急性の高い患者の診療のために適正受診にご協力いただきますようどうかお願いいたします。

## 個人情報漏洩等に関するお詫び

当院外来を受診された患者さまのカルテ記載情報を、当院看護師6名が業務目的外に閲覧し、うち2名が院外に漏洩するという事案が発生いたしました。

職員が、正当な理由なく患者さまの個人情報を閲覧し、漏洩したことにつきまして、当該患者さまは元より、そのご家族、関係者の皆さま、また病院利用者の皆さま、市民の皆さま方に対し、心からお詫び申し上げます。

当院職員に対し、公務員として、医療従事者としての反省と自覚を改めて求めるとともに、今後は職員一丸となって再発防止に努め、市立宇和島病院の信頼回復に全力で取り組んでまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### [再発防止策の内容]

個人情報保護に関する

- ① 個人情報漏洩再発防止委員会の設置
- ② 研修会の実施
- ③ 誓約書の徴取
- ④ 関係規定の整備 など

院長 梶原 伸介

## 看護師確保に向けての取り組み

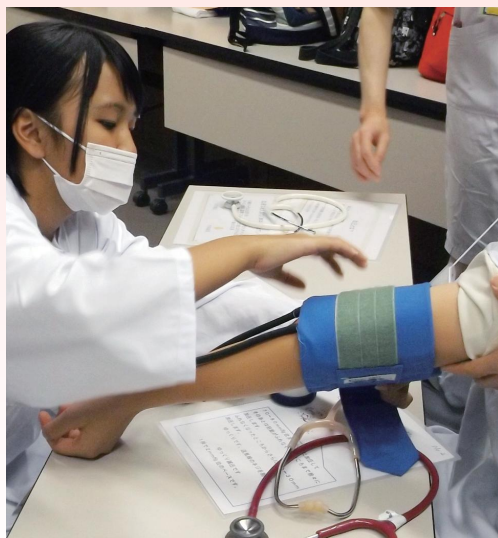
8 西病棟看護師長 末廣 あや

2006年度の診療報酬改定において、最も配置数を厚めとした看護体制の「7対1」入院基本料が創設されました。急性期病院である当院も「7対1」の看護体制の取得を目標に看護師増員に向けて努力していますが、まだまだ不足していることは、みなさんの知るところです。

今年度の新しい試みとして、10月10日に大阪市の梅田アウラホールで開催された「看護職就職フェア」に参加させて頂きました。「愛媛県出身者、もしくは愛媛県に興味のある方が、一人でも当院へ就職していただければ」という思いと、他施設の就職説明会の情報収集を目的として参加しました。残念ながら愛媛県出身者はいませんでした。が、「親戚が津島町にいて懐かしい」と言われた方や、「愛媛に就職をしてみたい」と言われた方もいました。

宇和島市は距離的に遠いことや、10対1の看護体制であることが、かなりハードルを上げているようでした。又、看護師寮など居住環境や24時間保育など多くの問題も、今後の課題であると感じました。他施設のブースでは、キャラクターグッズの文房具や景品などの配布で集客し、プロジェクターを使ってブースの壁に施設案内を映し出して説明する等、効果的に宣伝しているところは参考になりました。今回、直接の看護師獲得には至りませんでした。が、今後の募集活動に少しでも繋げていこうと思っています。

11月1日には例年通り、院内で健康フェスティバルが開催されました。今年度は看護部として初めて、高校生を対象に『未来の医療人コーナー』を実施しました。近隣の高校より午前中17名、午後13名の参加がありました。聴診器で初めて聴く自分の心臓の音に驚きの表情や言葉、隣の人との血圧測定や包帯固定、新生児の人形を抱く場面では、笑顔も多く見受けられました。人工の腕モデルを使用する採血場面や手術室での機械操作の見学では、直接医療を感じ、興味津々の表情が見受けられました。終了後のアンケートでも「将来看護師になりたいという思いが強まりました。」「看護師の仕事は大変だが、やりがいのある仕事だと思いました。」など嬉しい言葉が書かれていました。



看護師は以前3Kの仕事「汚い」「危険」「きつい」と言われ、今では9Kと言われていています。しかし、看護師は辛いけれどもやりがいのある職業であると確信しています。今後この市立宇和島病院を支えてくれる看護師の確保に少しでも努力していく事が、地域に貢献する第1歩であると強く思い取り組んでいきたいと思えます。



# 市立宇和島病院イベント情報

当院では、地域に根差した活動の一環として、各種イベントを開催（参加）しています。

平成27年度 イベント一覧	
7月22～24日	うわじま牛鬼まつり参加
7月28日	七タミニニココンサート
8月10日	和琴コンサート
10月4日	歌で心と身体をリフレッシュ
10月17～18日	リレー・フォー・ライフえひめ
11月1日	健康フェスティバル
11月12日	ブルーライトアップうわじま
12月16日	イルミネーション点灯
3月12日	難病啓発講演会&コンサート

開催したイベントの一部を  
写真で紹介します。

うわじま牛鬼まつり うわじま踊り



和琴コンサート



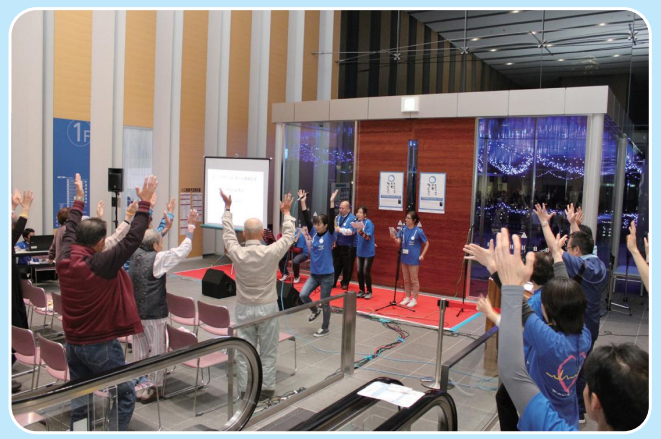
歌で心と身体をリフレッシュ



健康フェスティバル



ブルーライトアップうわじま



**難病啓発講演会&コンサートのお知らせ**

3月12日（土）13時～15時まで、当院講堂で開催いたします。

当院医師の講演に引き続き、アンサンブルさくらさんによるコンサートもありますので、ぜひお越しください。



# 呼吸器外科

呼吸器外科 科長 根津 賢司

呼吸器外科は平成27年4月より新設され、科長根津賢司を中心に外科、心臓血管外科のメンバー全体で携わっています。現在、当院では呼吸器内科の常勤は不在ですが、愛媛大学医学部より濱田千鶴医師、愛媛県総合保健協会診療所長の西村一孝医師に非常勤で来ていただき、連携しながら、呼吸器内科領域も当科にて対応しています。

呼吸器外科とは胸部にある肺、気管支、胸壁ならびに胸腺などの縦隔（じゅうかく）の手術治療を担う科です。

実際に治療に携わる領域は原発性肺がん（肺からできたがんのこと）、転移性肺がん（他の臓器のがんが肺に転移してきたもの）、胸腺腫（きょうせんしゅ）などの腫瘍性疾患に加え、炎症性肺腫瘍（肺真菌症、結核腫など）、自然気胸、血胸、多汗症、重症筋無力症、外傷（肋骨骨折による外傷性気胸、血胸など）、膿胸など多岐にわたります。

当科では上記の領域の診断（各種画像検査、気管支鏡検査など）から治療（外科治療、化学療法など）、またその後の経過フォローや緩和ケアに至るまで対応しています。

特に、現在肺がんは本邦においても増加の一途をたどっています。検診の普及により早期の肺がんが増えていますが、依然として進行肺がんも増えています。当院では、迅速かつ正確な判断に基づき、患者さん一人一人の病状を考慮しつつ、最適かつ安全な治療方針を決定しています。またクリニカルパスという管理方式を徹底し、手術の安全性も含め、きわめて高いものになっています。



根津先生

現在、標準的な肺癌手術では、安全性、根治性を確保しつつ胸腔鏡を併用することで、身体にかかる負担を少なくし、より早い術後回復を促し、手術後7日〜10日程度で退院することが可能となっております。日本は世界一の長寿国です。肺癌患者さんも高齢化しています。その為に肺癌の治療に際して、高血圧、心臓病、糖尿病、その他の合併症をお持ちの方も数多く見られます。そのような方々に対しては、当院が総合病院であるという特性を生かし、他の専門科との連携と協働体制のもと、安全に手術が受けられる環境を整備しています。

今後とも日々診療や治療の技術を磨き、『患者さんから学び、患者さんに還元する医療』の理念にのっとり、毎日の診療経験から学んだことを臨床や研究にフィードバックし、地域医療に貢献したいと思っておりますので、お気軽にご相談いただけます。

加えて、21世紀の外科を一緒に支えてくれる、夢の実現を分かち合えるハートのあるブラスクジャックを目指す外科医も募っていますし、若人の来てくれる魅力のある診療科を目指して日々精進していくつもりです。よろしくお願ひします。

## 血管にやさしいレシピ

### 肉団子のソイクリーム煮



- ◎材料（2人分）
- チキンミンチ ……100g
  - 玉ねぎ ……40g
  - 白菜 ……80g
  - ブロッコリー ……40g
  - 人参 ……30g
  - エリンギ ……40g
  - パン粉 ……10g
  - 卵 ……20g
  - A 生姜 ……8g
  - 塩・こしょう ……各0.2g
  - 豆乳 ……200g
  - コンソメ ……6g
  - 揚げ油 ……適量
  - 片栗粉 ……適量
  - こしょう ……適量

肉団子に使用している生姜は、肉の消臭効果だけでなく身体を温め血流改善効果があります。豆乳にも動脈硬化予防があり牛乳よりも低カロリーで血管に優しいのです。

【1人分の栄養量】  
エネルギー267kcal、たんぱく質18.5g、塩分1.6g

- ①白菜とブロッコリーは一口大、人参は短冊、エリンギは3mm幅に切る。
- ②玉ねぎはみじん切りにし、生姜はすりおろす。
- ③チキンミンチ、玉ねぎ、Aを混ぜ合わせ、団子状に丸める。
- ④③を熱した油で揚げ焼きにする。
- ⑤鍋に水（150cc）、白菜、ブロッコリー、人参を入れ、火が通るまで煮込む。
- ⑥豆乳・コンソメ・エリンギ・④を加え、弱火で5分ほど煮込む。
- ⑦水溶き片栗粉でとろみをつけ、こしょうで味を調える。

## 平成28年2・3月糖尿病教室予定表

日程	演 題	講 師	医療スタッフの講義	担当部署
2月5日(金)	糖尿病のことを知ろう	研修医	見直してみませんか？あなたの検査値	臨床検査科
2月12日(金)	自分の糖尿病を把握しよう	内科宮崎万純先生	糖尿病に薬（ヤク）だつ話	薬 局
2月19日(金)	糖尿病を治療しよう	研修医	糖尿病食は、健康食	食 養 科
3月4日(金)	糖尿病の第六の合併症：歯周病	歯科口腔外科工藤佑喜先生	ともに学ぼう、糖尿病	看 護 部
3月11日(金)	糖尿病の余病を見落とさないために	内科宮崎万純先生	合併症が出てしまった時の食事	食 養 科
3月25日(金)	知ってもらいたい動脈硬化の検査	久保田典夫臨床検査技師	お散歩から始めましょう	リハビリ

- ◆ 時間 午後2時より3時まで
- ◆ 場所 北棟（1階）多目的栄養相談室
- \* 日程、講義内容は変更になることがあります。
- \* 血糖値測定（無料）は毎回行います。（午後1時30分頃から2時まで）
- 詳しくは食養科までお問い合わせください。

問い合わせ先 0895-25-1111（内線20010）  
市立宇和島病院 食養科

### 糖尿病患者会（パール会）

開催時間 午後3時から3時30分まで  
2月19日の担当：食養科 3月25日の担当：食養科  
\* 糖尿病療養指導士のスタッフが担当いたします。

発行／市立宇和島病院広報委員会  
住所／〒790-8510 宇和島市御殿町1-1  
TEL／0895-25-1111 FAX／0895-25-5334